

2024年度 ガイドライン評価改善シート

施設名 (ドリームケアふる とくら園) 作成日時 (2024年 9月 10日)

代表	施設次長	本部
風間	西島	田中

令和6年度 改善への取り組み	子どもの人数が減り再構造化を行った、保護者会・保護書交流会を定期的に行った
今年度の施設目標	「個別化」を意識した支援の徹底・ニーズに合わせたおたよりの作成、発行・保護者会の定期的開催

項目	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での共通点	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での相違点
環境・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ・スペースの確保は十分に出来ている ・保護者の配置数は適切である 	(自由記述より) <ul style="list-style-type: none"> ・どのようなスタッフがいるのか知りたい ・バリアフリーへの配慮は見ることがないのでわからない
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善を進めるためのPDCAサイクルには一部の職員のみが参画している。 ・研修の機会は十分に確保されている 	
適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画に沿った支援が行われている ・活動プログラムが固定化しないための工夫が十分ではない、または内容の伝達に不足がある 	事業所:子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で支援計画を作成している/保護者:ニーズへの対応が不足している (自由記述より) <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに対しての対応はなかなか難しいのかなと感じる
関係機関や保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のないお子さんとの関わりがほとんどない ・ベアトレ等は時間を設けては出来ていないが、個別で相談は受け対応している ・必要に応じて関係機関(幼稚園、保育園、相談支援事業所、市町担当課等)と情報共有している。 	(自由記述より) <ul style="list-style-type: none"> ・保育所や認定こども園との交流の機会があるのかわからない
保護者への説明責任等	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から子どもの姿について保護者と情報共有できている。 	事業所:保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている/保護者:相談や申し入れについて、体制の整備や迅速な対応が不足している。 (自由記述より) <ul style="list-style-type: none"> ・送迎時にその日の様子を伝えて欲しい
非常時等の対応		事業所:必要なマニュアルを作成し、定期的に避難訓練を実施している/保護者:緊急時や感染症のマニュアル、訓練についての周知が不足している。



分析検討してみた事業所の強み
<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から子どもの状況について保護者と共通理解ができている(保護者とのコミュニケーションが適切に図られている) ・個別の支援計画がガイドラインに沿って適切に作成され、保護者に対して説明されている。 ・研修の機회가十分に確保されている

分析検討してみた事業所の改善点
<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画への保護者のニーズの反映が不足している/保護者への説明が不足している ・保護者評価の中で「どちらともいえない」という回答がほとんどの項目で見られた。また自由記述の中でも「わからない」という言葉があった。

事業所の改善への取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○保護者のニーズを個別支援計画に取り入れる ・個人面談にて保護者のニーズを聞き取り個別支援計画に取り入れる ・日常的なやりとり(LINEWorks,連絡帳,送迎時等)にあがった保護者からのニーズを職員間で共有する ・支援の経過についてHUG(サービス提供記録)や個人面談時に伝える ○戸外遊びや運動遊びの時間の確保 ・支援の中で獲得したスキルを般化する意味も兼ね、積極的に設定していく。 ○保護者が必要としている情報、事業所が伝えたい情報をわかりやすく伝える ・保護者評価の中で「どちらともいえない」の回答があったものや「知りたい」という意見があったものに対して、保護者に伝えるための仕組みをつくる ・HUG(サービス提供記録)を利用したり送迎時に可能な範囲で保護者とコミュニケーションを図り、その日の様子や支援の経過を伝えるよう努める

自己評価を行った事業所としての感想など
<ul style="list-style-type: none"> ・「どちらともいえない」という回答が多く、事業所の取り組みについて保護者に伝える仕組みが不足していることに気付いた。個人面談や保護者会等で直接会話をする機会に加え、HUGやLINEWorks等様々なツールを活用することで情報を伝達・共有していきたい。 ・「事業所の支援に満足しているか」という設問に対し、「どちらともいえない」という回答があった。これを「事業所への期待の表われ」と捉え、本人、ご家族にとってよりよい支援の計画、実施に努めていきたい。

来年度の施設目標	みんな なかよく 事業所と利用児…好きなこと・できることの把握/安心のあるかわり/生活スキルの獲得 利用児と利用児…他者を認識する/許容する 事業所と保護者…保護者のニーズの把握/情報の公開/日常的なコミュニケーション/保護者会の実施 事業所と地域…地域への情報公開/つながりづくり 事業所内(スタッフとスタッフ)…共に学ぶ・考える/協力し合う
----------	---